



ゆたか福祉会キャラクター  
ゆたかめくとみらいちゃん

# 障害者の ゆたかな**未来**をめざして



「梅雨上がり晴れるといいね」  
ゆたか作業所 デイ現場  
※紹介が11ページにあります。



## CONTENTS

- ▶ 私たちの実践 ～障害のある人の『働く』を支える～ ..... P2～3
- ▶ 障害のある仲間たちの高齢化と65才問題 ..... P4～5
- ▶ 2022年度 資格取得者紹介 ..... P6～7

2022年7月10日 毎月1回10日発行 一部100円（法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます）

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会 〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3  
TEL 052-698-7356 FAX 052-698-7358 <http://www.yutakahonbu.com/>



愛知県ファミリー・  
フレンドリー・マーク

ゆたか福祉会

検索

シリーズ 私たちの実践  
 障害のある人の「働く」を支える

第2回 トライズ

「クリーニング現場の実践」①



【事業と定員】  
 就労継続支援 A型 —15名  
 就労継続支援 B型 —15名

■トライズの立ち上げ

資源回収事業は1990年、リサイクルみなみの付帯事業としてスタートし、その後法人の公益事業を経て2006年、就労継続支援A型「資源回収みなみ」として運営してきました。名古屋から委託を受け、熱田区のビン・缶回収、昭和区のビン回収を、職員1名・仲間2名の3名一組でトラックに乗車行っています。外での作業は悪天候や道路状況等で大変な事も多いですが、ゆたか福祉会の看板を背負い、公共インフラを支える誇りと安定した高い収入がやり甲斐につながっています。

2015年、ゆたか福祉会第5

期総合計画を受け、就労継続支援B型事業が加わり、多機能事業所「トライズ」として新たなスタートをきりました。B型事業の作業科目としては、法人内のなるみ作業所の経験を活かした形での清掃事業と、法人として初めての洗濯事業を加えました。事業所名は未知のことへのTRY（トライ）＝挑戦、更なるRISE（上昇）を目指す決意で命名しました。B型事業の現場方針では、仲間主導の現場づくりを掲げました。立ち上げにあたっては、長年回収事業に従事し、ここ数年、高齢化や身体状況の変化で体力的に厳し

くなった方1名と、生活介護事業

を行うみのり共同作業所・ふれあい共同作業所から、一歩進んだ作業・工賃を目指す方6名に集まっていたいただきました。現在は定員の15名の方が利用しています。

■洗濯事業への挑戦

奔走した土地探しと  
 国家資格の取得

この事業への挑戦は、ゆたか福祉会の色々な事業が「先達の人々によって創られて今がある」有り難さや、その中での苦難を実感する日々でした。

先行していた清掃事業の立ち

上げを進める中で、入所施設などの洗濯業務が障害者の働く場として委託されており、衣類を一人ずつ分けしなくてもすむように個別ネットで洗濯するしくみが確立されていることが分かってきました。2014年に富田前理事長と先駆事例の施設を見学し、「2015年春に開所するティンクルなごやを利用される方の私物洗濯を仲間の仕事にできないか」とご提案いただき、手を挙げた事がきっかけです。

開業準備は、業務用洗濯ネットのリースをうける京都の会社のご協力をうけて始めました。外部からの洗濯物を受注するには、法に定められた「クリーニング場」が不可欠であること。最低でも30坪の敷地と業務用洗濯機2台・乾燥機1台等、また国家資格である「クリーニング師」が必要と分かりました。それまではマンションの一室と、リサイクルみなみ作業所の駐車場を借りて運営して

いたため、土地探しに奔走することになります。不動産屋さんや看板を探し回りましたが、クリーニング場と福祉施設を兼ねられる建物付の土地が見つからず、現在地が見つかったのは建物建設工事リミットの9月でした。

クリーニング師は資格取得の方法を調べる所からのスタートでした。洗濯に関する学科試験に加え、重さ5kgの業務用スチームアイロンを用いて時間内にワイシャツを仕上げる実技試験があると判明。「合格しないと開業できない」というプレッシャーの下、秋の試験で2名の職員が合格。保健所への届出を行い、何とか春の開業を迎えることができました。

### ■お客様に満足して いただける商品を

様々な試行錯誤のなかでスタートした当時は、仲間主導の現場づくりを掲げつつ、職員も「わからないことがわからない」

状態で手さぐりの日々でした。

私物洗濯で難しかったのは「たみみの完成度」商品としての標準化の設定」でした。当初仲間たちは「自分の服をたたむ」感覚だったため、個々のお客様の服を商品として一定レベルで出荷し続けるにはどうしたらいいかを一緒に考えていきました。

服と一口に言っても、サイズ・フード・えり・ボタンの有無・素材の違いなどで、たたみやすさが全く異なります。しわをのばしながら左右均等になるよう、服の中心を基準にして一定のサイズにたためるプラスチック板の治具を用意し、タンスの幅に収まるようにしました。また、たたんだ服を重ねる順番を決め、なくしやすい靴下やハンカチは先にたたむことにしました。

治具は個々のたたみ方のくせや苦手な所を考慮し「色々作成しては試し…」を繰り返して、現在たたみみの治具は最小限のプラスチック板に絞られました。

治具に凝りすぎると、仲間たたむ力が伸びるにつれてかえって応用がきかなくなることも分かりました。仲間の最近接領域はどこなのか？イレギュラーな場面（靴下片方だけ、しわや生乾きなど）の報告やチェックはどこまで求めるか？ミスが起きたときは皆で話し、職員のチェックや検品をどこでどのように入れるか試行錯誤しながら、作業の流れをつくってきました。

東京学芸大学の菅野先生にも現場をみていただき、「狭い現場でもスムーズに作業が流れるよう主となる作業をしぼり、動線や優先順位を極力一本化する」「商品ごとの洗濯機・洗剤・乾燥機の番号をわかりやすく整理する」等のご助言のもと、数年かけて現場を整理していきました。

作業の前提として、気持ちよく働ける仲間・職員集団の重要性も痛感しました。一人では完結しない作業を、力を合わせてやり遂げるためには、日頃からの声のかけ

あい・お互いの理解・困った時に適切に伝えられる安心感や協力が必要です。どうしても作業に追われてしまいがちですが、トラブルが起きて話し合いをする時、改めて集団のあり方も見直す必要があると感じました。



[2016年] スタート当時の現場



[現在] 表示を行い分かりやすくスッキリ

## 第2回

## 障害のある仲間たちの高齢化と65才問題

## 「高齢期を迎えた仲間たちの生活」

## はじめに

加齢に伴い意欲低下や身体機能の低下などにより、今までのように作業所で働けなくなってきた仲間たちが増えてきています。そういった仲間の中にグループホームに入居している人たちによっては、「支援員が日中不在のため、ホームで過ごすことが難しい」という課題があります。

こういった仲間の生活課題の解決として、「活動性の維持や余暇の楽しみが拡大できるように」と、介護保険のデイサービス（介護保険または、障害の基準該当生活介護・共生型生活介護）を利用する方たちも増えてきました。

これらは上記記述のような理由で、支援が必要なのに、障害者向けの行き場所がないために介護保険の施設を代わりに利用しているに過ぎないのです。



## 行政の最近の動向として

名古屋市の各区の障害福祉担当課は、制度が正しく運用される事を中心に進めていきます（介護保険優先の原則）。65歳以上の仲間たちが高齢デイサービスを障害福祉サービスとして利用している場合、介護保険として利用できる可能性がないか「一度はフィルターを通してほしい」と、介護保険の申請を勧めてきます。

実際、「共生型生活介護」を実施している「デイサービス宝南」では、知的障害の仲間たちの利用が増えていきます。しかし人によっては介護が必要ではなく、ADL（移動や排せつ、食事、更衣といった日常に必要な動作）や、IADL（家事や買い物といった手段的な日常生活動作）はある程度自立していることが多いことや、デイサービス利用であっても支援の内容は、介護より障害の特性に沿った支援が必要であることが実情です。そういった実態のなかで、安易に行政側の方針に従って、支援者が介護保険の知識なく気軽に認定申請を行うと、場合によっては本

人の不利益になる可能性があるため注意が必要です。

## 介護保険の認定調査について

介護保険の認定調査というものは、主治医意見書と認定調査員の74項目の調査により、介護保険認定審査会が判定します。障害の認定調査は「障害によって社会生活においてどのような支援が必要か」を80項目の調査でなされると思っています。一方、介護保険では本人の能力と介護の手段を調査するため、似ているようで目的に違いがあります。

例えば視覚障害の人のように、外出時には誰かの支援が必要でも、自宅では何が起こっているかを把握しており、誰の支援もなくとも日常的なことが自分でできる人は、障害支援区分は高く認定されるのに介護保険認定区分では低く認定されるということがあります。

そして、認定申請をするということは「介護保険サービスを利用希望している」と関係者は

理解し、主治医、調査員、介護保険認定審査会もそういうことで公平中立な姿勢で資料を作成し、認定結果を出しつつも、意識がそちらにあり総じて知的障害者が非該当になることは、経験上少ないと感じています。

また、何らかの疾患で入院に至った場合、退院支援のための医療ソーシャルワーカーは、本人の利益のために最初に介護保険の認定申請を検討します。

ソーシャルワーカーの知識は医療保険や介護保険に関することは詳しいのですが、障害福祉サービスについては知識としてあまり持っていないことが多いです。また急性期など長期臥床の時期が続くとADLが一時的に下がり、介護保険でも認定が下りる可能性があります。しかし症状が改善することも考え、元の生活に戻れることも可能性としてあるので、勇み足で申請をされないほうがよいと思います。なぜなら慌てなくても、介護保険は申請日からみなし利用ができることや、本当に介護保険の必要性があっても、もともと障害者支援の受け皿があれば「すぐには困らない」と考えるからです。

## ● 実際の介護保険の利用での課題

もし介護認定された場合、デイサービスと作業所を利用しようとすると、「働く場の支援」は介

護保険にない支援のため併用は可能なのですが、認定結果が日数制限のある要支援になった場合（介護報酬が低いため施設の運営上、週1または週2となるケースが殆ど）は、今まで共生型生活介護の日数をそれ以上に利用していた場合、利用日を削ることになり、結果として、作業所にも行けず、デイサービスにも行けず、日中に支援者が配置できないグループホームで過ごさざるを得ない可能性があるわけです。

介護保険のメリットは高齢期の支援のため、福祉用具のレンタルや購入（エアマットや特殊寝台や車いす等）を安価で、かつ身体状況に応じたものを状態の変化に応じて瞬時に準備変更できることです。「介護に必要な道具を揃えたい」という時や、経管栄養、吸痰など医療依存度が高まったとき、脳梗塞後遺症などの著しくADLが低下した時などは、介護者の負担軽減としても無理せず介護保険の申請をすることを推奨します。

しかし、障害福祉サービスに追加して介護保険を利用できるとは限らず、場合によっては今まで利用できていた障害福祉サービスが減る可能性があるため注視して申請してほしいと思います。

またサービス調整をしたり、計画書を作成してきた相談支援専門員との関係が、介護保険のケアマネジャーに計画書の作成を移行することになり、障害福祉サービスに疎いケアマネジャーが、

僅か一部の介護保険利用に対して複数の障害福祉サービスの中核を担うことになるわけです。

ケアマネジャーは介護保険については詳しくも、障害福祉サービスについては職業的に詳しく習得する必要がなく、「運用に関して知識が浅い」と考えたほうが良いかと思います。もし介護保険を利用するのであれば、障害福祉サービスのことをよく分っているケアマネジャーを選ぶことが重要です。

## ● 高齢障害者が安心して生活するために

障害福祉サービスの課題として感じるのは、①高齢障害者を対象とした障害福祉サービスによる日中支援の場があまりにないこと、②日中グループホームには職員配置ができないといった状況があり、さらに働く仲間が住むホームでは人生の最期まで過ごすことが出来ないという課題、③介護保険優先の原則により、行政の一言で本人含めた多くの関係者が無駄に様々な手続きに翻弄されること、これらは制度設計に問題があると感じています。

仲間たちが安心して高齢期を迎えるために、一緒に皆さんで考えて行動に移していけたらと思います。

ケアサポート宝南 所長 岡山加代子

# 2022年度 資格取得者紹介

今年も社会福祉士、介護福祉士各6名、計12名の皆さんが新たに資格取得をされました。  
4月の職員集会に参加された8名の方は、当日壇上でもご紹介をしましたが、改めて広報誌上においても紹介させていただきます。今後のご活躍に期待しています。

## Question

- ・資格取得を目指そうと思った動機
- ・資格を活かしてこれから頑張りたいと思うこと

## 社会福祉士

### ..... 新規学卒者の皆さん .....



#### みのり共同作業所 山本 祥真

資格取得を目指そうと思った動機は、福祉の知識を学んで「様々な状況に対面した時に支援を考えられるようになりたい」と思ったからです。  
社会福祉士の資格を活かして、現場で色々なことにチャレンジしていきたいです。



#### ゆたか生活支援事業所あつた 小林 菜々

私が社会福祉士を目指した背景には、大好きな祖父がいます。  
生前、認知症が進行した祖父との関わりに後悔が残り、「自分に来ることは何か」と、本人の望む生活や家族の支援に関心を抱きました。現場での経験と資格を活かし、将来は相談支援に携わりたいと考えています。



#### リサイクル港作業所 岸野 翼

私は大学在学中に福祉を専攻しており、福祉の仕事をしていくうえで「しっかりと知識を身に付けたい」という思いから資格取得を目指しました。  
資格取得をする上で学んだことを、日々の支援に活かしていきたいと思います。

### ..... 先輩職員の皆さん .....



#### ゆたか通勤寮 山代 冬佳

大学在学中に重度訪問介護のヘルパーを経験し、障害のある方の就労支援に興味を持ち、社会福祉士を目指しました。  
資格を活かして困難を抱える方のサポートができるように今後も学びや考える機会を大切にしたいと思います。



#### ふれあい共同作業所 大石 雅生

私は大学時代から資格取得を目指しておりましたが、この度3回目の受験でようやく取得ができました。  
今後も勉強し続ける気持ちを大切にしながら、皆様に頼っていただける存在を目指していきたいです。



#### ライフサポートゆたか 市原 佳恵

これまで複数の事業所で働き、様々な業務に関わるうちに「福祉のことをより深く学びたい」と思い、資格取得を目指しました。  
社会福祉士として学んだ知識を活かすことができるように、これからも頑張りたいと思います。



# 介護福祉士



## なるみ作業所 安藤 玲偉

資格取得を目指そうと思った動機は手当てが貰えるからです。それから福祉の知識が無かったため「少しでも知ろう」と思い、資格取得という目標を掲げることで、福祉の知識を学ぼうと思ったからです。  
なるみ作業所発展のために頑張ります！！



## ゆたか希望の家 吉村 智史

元々、ゆたか福祉会を紹介してくれた大学時代の先輩に勧められ、今回受験をすることを決めました。  
また、業務中に腰を痛めてしまう経験もあったため、正しい介護の在り方を考えながら日々、仲間の暮らしを支えていきたいと思えます。



## 事業所尾張 村田 陽子

資格取得に挑戦したのは、実務経験を活かし自らの力を試したかったからです。  
これからは資格に恥じないよう、尚一層仲間に寄り添い、お互い境い目のないライフを提供できたら嬉しいです。

..... 「ゆたか生活支援事業所みなみ」の皆さん .....



## 小林 みのり

専門的な知識や技術を身につけ、「仲間にとってより安心できる支援を行える様になりたい」と思い資格取得を目指しました。  
これからも学ぶ姿勢を忘れず、得たものを日々の支援で生かしていける様に頑張っていきたいです。



## 前田 ゆきな

「支援の質を上げたい」「自分自身のスキルを上げたい」と思い、資格取得をしました。  
今までと同様、なかまが安心して楽しく生活ができるよう支援を続けていくとともに、より専門的になかま支援について考えていけるよう努めてまいりたいと思えます。

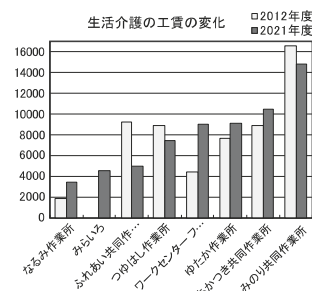
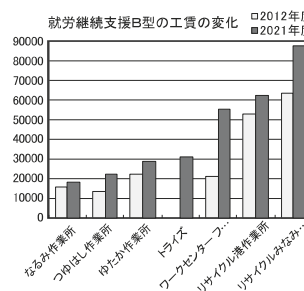
※阪野 敏弘さんについては、  
また後日紹介をさせていただきます。

## ゆたか福祉会 2021年度工賃(賃金)実績報告

		2021年4月1日 現在の定員	2021年度 平均支払人数	2021年度 平均工賃(月額)	2020年度 平均工賃	増減 2021-2020	工賃向上計画	
							2021年度 目標	2022年度 目標
就労継続B	ゆたか作業所	15	9	29,051	33,126	-4,075	33,333	33,750
	なるみ作業所	10	6	18,268	18,173	95	20,238	21,000
	つゆはし作業所	10	12	22,243	18,333	3,910	20,455	21,212
	ワークセンター フレンズ星崎	15	14	55,632	54,491	1,141	56,818	60,000
	トライズ	15	14	31,105	28,111	2,994	30,952	31,845
	リサイクル港作業所	40	37	62,290	63,537	-1,247	53,419	53,632
	リサイクルみなみ作業所	35	34	87,857	88,520	-663	80,800	81,111
	小 計	140	126	56,517	56,526	-9		
生活介護	ゆたか作業所	40	26	9,117	7,291	1,826		
	なるみ作業所	35	25	3,494	3,477	17		
	つゆはし作業所	20	21	7,438	6,797	641		
	ワークセンター フレンズ星崎	15	16	9,013	8,068	945		
	みらいる	30	13	4,603	4,793	-190		
	みのり共同作業所	30	32	14,799	14,667	132		
	ふれあい共同作業所	30	32	5,051	5,192	-141		
	あかつき共同作業所	30	30	10,485	9,780	705		
	小 計	230	195	8,360	7,932	428		
移行支援	ワークセンター フレンズ星崎	6	6	17,579	14,401	3,178		
就労継続A	トライズ	15	13	201,798	191,076	10,722		
	総 計	391	340	34,049	33,287	-		

工賃向上計画	
2021年度 目標	2022年度 目標
33,333	33,750
20,238	21,000
20,455	21,212
56,818	60,000
30,952	31,845
53,419	53,632
80,800	81,111

- 平均工賃は、2020年度と比べて就労継続B型ではほぼ横ばい、生活介護では少し増加しました。
- 就労継続B型のつゆはしやトライズでは工賃の改定や賞与の支給で平均工賃が増加しました。ゆたかは利用者の入れ替わりなどの影響で減少しています。
- 工賃向上計画にかかげた目標工賃は7か所中、4か所で達成することができました。
- 生活介護では2020年度には多くの事業所で工賃が減ったものの、2021年度は回復してきています。



### 10年間の工賃の変化

- すべての事業所で新体系への移行が完了したのが2012年度。それから10年、この間の工賃の変化をみると…。
- 就労継続B型では、全体の平均工賃が13,346円増加しています(43,171→56,517)。すべての事業所で増額しているのが特徴です。工賃向上の実践の成果です。
- 生活介護では、全体の平均工賃が366円減少しています(8,726→8,360)。事業所によって増減の傾向がわかれています。工賃のほかに多様なニーズへの対応を模索している生活介護の現状があらわれています。

### もやい総会開催

支えられ、コロナに負けず  
前進めざして

今年度の総会は昨年同様、コロナ禍の影響で表決書を正会員に送付した上で議決していただく方法でおこないました。

「成年後見もやい」は事務所を開設して4年が経ちました。この4年間で名古屋家庭裁判所から成年後見人等の受任をした件数は62件(内8件は終了)です。このうち、ゆたか福祉会関係は36件(58%)です。現在の23名の後見支援員が登録され、15件のケースに就いています。毎月第二木曜日に後見支援員の交流会を開催し、担当ケースの報告や意見交換をし、本人の意志決定を尊重した後見支援をめざしています。

組織を支える会員の状況は、正会員21団体・個人30名、賛助会員85名です。名古屋市の指定NPO法人の認証をめざして賛助会員100名超を目指しにみなさんの加入を呼びかけています。

財政的には、法人後見事業で39件の報酬付与があり、安定運営の基礎固めができました。

6月23日表決の結果、議案すべてが可決されました。可決された事業報告書や決算報告書については内閣府NPOのホームページに掲載されています。今後ともゆたか福祉会の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者連合会担当役員 小松 由明



# 今年度最初の設楽福祉村キラリンとーぷ便りを紹介します



設楽福祉村キラリンとーぷ便り

## キラリン

(編) ゆたか福祉会

2022年 5月 1日発行

設楽福祉村  
キッポンとーぷ

Vol. 21

〒471-2732 北設楽郡設楽町末新座字塩1 16-23 Tel:0536-65-0370 Fax:0536-65-0377

### 新たな旅立ちをお祝い！ グループハウスなくら



との思いを込めて、お揃いの記念Tシャツも作りました。

これからはいずれそれぞれの人生を歩んでいきますが、グループハウスなくらで過ごした時間をかけがえのないものとして、故立つ仲間への門出を盛大に笑顔いっぱいでお祝いすることができました。



送る会で撮影した集合写真は、みんなの思い出のアルバムとして冊子として渡されました。また、名士屋へ移られる利用者さん、なごろへ戻る利用者さん、大に離れていても思い出して頂きたい

名古屋に新しくできたグループホーム(名称「まよる家」)へ移られる利用者さんのために3月17日(土)に送る会を行いました。

「福祉村の卒業式」をテーマに開席し、名古屋へ移られる利用者さんは千作りの帽子と羽織を着て出席される名前を呼ばれると元気よく返事をし一人ずつ前を出て卒業証書を受け取られました。その後、グループハウスなくらに熱心な利用者さんや職員からの祝辞が伝えられ、最後はみんなで大団円を歌い、福祉村の卒業式に終了しました。



## 「星に語りて」あかつき映画祭 開催

きょうされん 40 周年記念事業として制作された「星に語りて～Starry Sky～」は、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災における 障害のある人の状況と支援者の活動を描く劇映画 です。きょうされん愛知支部では、コロナ禍の中で延期されていた地域上映運動が提起され、その先陣をきっての上映会となりました。

この上映運動は 2018 年から動き出し、社会福祉協議会や防災関係者の方たちとの試写会も実施してきました。民生委員の会議の中で「初めて“障害者”の話題が出た」とのことで、確かな手ごたえを感じていたものの、一度、白紙に戻った経過があります。

2021 年 8 月、全国でストップしていた上映が、隣の清須市身障協会主催で開催されました。その時にお手伝いをさせて頂き、関係者の熱い想いに刺激を受け、改めて運動の大切さを実感しました。そして約 9 か月後の 5 月 28 日、名古屋芸術大学アートスクエアで感染対策を十分にしながら上映を行うことができました。

私自身も映画に出ていた全障ネット（正式名称 JDF 日本障害フォーラム）の活動に参加した経験があります。震災から 1 ヶ月半後の現地では、個人情報保護法の壁により「障害者の行方が分からない」という状況がありました。困っていること等の実態調査の時期に災害支援に行った経験から「1 人でも多く

の人に映画を観て欲しい」「何かを感じて欲しい」という強い思いがあり、呼びかけをさせて頂きました。

映画祭当日は、岐阜県海津市や知多の方からの参加者も含め、200 名余の皆さんが映画を鑑賞されました。アンケートでは「災害支援センターが立ち上がり、長期にわたってひとりの障害者も残さず支援してきた姿が胸を打ちました」「障害者たちの現実を知り愕然としたが、やはり声をあげることが大事なことだと思った」「震災から 10 年余、今回映画を観て改めて考えさせられ、人とのつながりの大切さを感じた」という感想が聞かれました。またボランティアで参加した大学生からも「映画を通して震災時、ニュースでは報道されていなかった障害者の苦悩が、胸に刺さった」「もっと若者や健常者に観てほしい、そんな映画だった」といった“声”も聞かれました。この映画を通じて、多くの方が考える機会になったのではないかと思います。

また地域の方たちと久しぶりに接する機会を持ち、改めて地域とつながる大切さを感じました。震災のような非常時には、自分の事を守るのに精一杯かもしれませんが、でも、この映画の事実を知るかどうかで、心持ちは大きく変わると思います。今後起こり得る災難の際、同じことを繰り返さないための教訓として、ここから地域の方たちとのつながりを発展できればと思います。

佐野 浩之

## 表紙の作者紹介

### 「梅雨上がり晴れるといいね」

ゆたか作業所 デイ現場

月木グループでは、季節折々にその季節を感じられるような作品を皆で作っています。

この作品は梅雨の時期「ジトジト雨に負けないように、元気になるようなものを作りたいね」と仲間たちと相談して作成しました。かえるが大好きな仲間にヒントをもらい、大きな蓮の花にかえるが集い、楽しそうに歌っている様子と、かえるになる前のおたまじゃくしをたくさん作りました。

普段はA4のコピー用紙にみんなで色を塗り、それをちぎったものを使っていますが、今回の蓮の花は、火金グループで作っている紙すきハガキに色を付け、それをちぎったものを使ってみました。きれいな色合いで質感も良く素敵な蓮の花が出来、なかま達も嬉しそうでした。



5月

日誌

- 10日(火) 保護者連合会総会
- 11日(水) 新所長研修/決算実務学習会
- 12日(木) きょうされん愛知支部総会
- 13日(金) 新副所長研修
- 16日(月) 事業運営推進会議
- 17日(火) 広報・ホームページ編集委員会
- 19日(木) 所長会議
- 23日(月) 社会福祉士相談援助実習指導者打ち合わせ
- 24日(火) 副所長会議
- 25日(水) きょうされん総会
- 27日(金) 権利擁護・虐待防止会議
- 28日(土) 苦情解決第三者委員会
- 30日(月) 2022正規採用職員「援助担当者会議」/研修部会議
- 31日(火) 監事監査

末小瀬  
田野口  
喜勝昭  
一幸代

(5月27日～6月2日手続き分)

賛助会員新規加入者・  
更新者「芳名一覽」

イオン新瑞橋店

一般寄附(5月)

順不同敬称略

※利用者・保護者・職員の皆さんからも多くのご寄附をいただきました。

ありがとうございました

## 広報・474号

2022年7月号(2022年7月10日発行)

定価1部100円

法人協会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会

印刷 / 株式会社東海共同印刷

法人協会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協会費 = 年間1口6,000円、  
賛助会員(個人1口3,000円、企業団体等1口5,000円)

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884  
・中京銀行 鳴海支店 普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会

# その人らしく働く 暮らす

Vol.102

## 仲間

### 「生涯現役」



第2ゆたか希望の家

浅井 浩さん ゆたか

浅井さんは昭和55年、21歳の時に「ゆたか希望の家」に入所されました。その後平成6年から「山の家」で過ごし、平成10年10月、39歳の時に「第2ゆたか希望の家」に開所と同時に入所され現在に至ります。今年で24年目になり、63歳になりました。

働くこと、動くことが好き

で、日中は農耕班で活躍しています。畑に種をまいたり、野菜を収穫したり、椎茸の原木に菌打ちしたりと農耕班の主力として毎日頑張っています。

ハウスでは洗濯物干しや食器運びを係活動として行っています。係活動などがあることで落ち着いた生活ができています。

休日は自販機で大好きな缶コーヒーを買うことを楽しみにされ、前日から「明日、缶



ししとうの収穫

今後も体が動く限り、農耕班で仕事を頑張っていけるようにサポートしていきたいです。

今泉 徹也

## 職員

### 「どんなときも自分らしく向上心を持って」

ゆたか生活支援事業所あつた

川松 亮太



入職したきっかけは、ゆたか福祉会での社会福祉士実習でした。

私はそれまで、障害のある方々と接したことがなく、何も知らない自分にとっては良くも悪くもとても影響を受けました。あつという間に実習を終え「もつと仲間達と楽しい時間が過ごしたい」と感じ、仲間達とさらに時間を掛けて関わり、新たな可能性を見つけないかと思い、希望の家でアルバイトを始め、入職する事を決めました。

現在、グループホームで働いて2年目になります。最初は知らないことが多く大変でした。料理・金銭管理・仲間の支援等、今までしたことのない仕事で戸惑いを感じていました。しかし仕事に慣れるにつれ、仲間の生活に関わり、仲間の良さを知り、お互いの信頼を築くことができ、やりがいも感じました。「仲間の生活を良くするのも悪くするのも、全て自分次第

である」事を改めて実感し、「責任感を持たなければ」と思いました。私は他の職員の方と違って、知識や経験が乏しいと感じています。これから皆さんの知識や経験が欲しいです。その知識や経験を得るには、研修や会議などで多くの人の話を聞き、自分の考えを話すことであり、自分が経験したことのない事にも積極的に取り組み、自分の力にしたいです。そして、それをいつか、仲間の支援に活かして、仲間の生活をより豊かにしていきたいと思っています。



「お帰りなさい」帰ってきたら消毒習慣！